

PORTEX・特殊気管内チューブ(口腔用気管内チューブガイド)

再使用禁止

【警告】

〈使用方法〉

1) 本品を進める際に過剰な力を加えたり、気管竜骨を越えたり、直接の視覚的確認なしで進めないこと[気管内組織損傷や気管支樹穿孔を引き起こす原因となるため]。

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈形状・構造〉

100/125 気管内チューブガイド



本品は、気管内チューブを交換するためのものであり、気管内チューブ交換時に患者の気道とのアクセスを保持するようにデザインされています。

チューブガイドの挿入の深さは、サイズにより先端から振られている10、20及び30、40cmの目盛りを参考にして決めることができます。

〈気管内チューブ I.D.別推奨サイズ〉

□気管内チューブガイドの目安

気管内チューブガイド(Ch)	5	10
気管内チューブサイズ(mm)I.D.	2.5~3.5	4.0~6.0

〈原材料〉

ポリウレタン

〈滅菌方法〉

エチレンオキシドガス滅菌

【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

(全体の使用目的)

口腔あるいは鼻腔を経て気管内または気管支内に挿管して、吸入麻酔時の呼吸管理あるいは呼吸不全に対する呼吸管理に用いる。

*〈本品の使用目的〉

口腔を経て気管内に挿管して、吸入麻酔時の呼吸管理あるいは呼吸不全に対する呼吸管理に用いる。

【使用方法等】

1. 気管内チューブのサイズに応じて、チューブガイドを選択します。
2. 使用前に気管内チューブガイドに滅菌済みの水溶性潤滑剤を薄く塗布します。
3. あらかじめ患者を酸素化します。
4. 参照する解剖学的ランドマークを選択して、気管内チューブの挿入深度に留意します。
5. 喉頭鏡を使用して直視下に、ガイドを留置されている気管内チューブを通して、ガイドのデプスマーキングと気管内チューブのデプスマーキングが一致する位置まで、ガイドを進めます。
6. ガイドの位置がずれないように保持して、慎重に気管内チューブを抜管します。解剖学的ランドマークを使ってガイドの位置を確認します。

7. 喉頭鏡は適切な位置に入れたまま新しい気管内チューブをガイドにかぶせながら挿入します。ガイドのデプスマーキングと気管内チューブのデプスマーキングが一致する位置まで、気管内チューブを進めます。ガイドと気管内チューブの位置が正しい位置にあるか解剖学的ランドマークとの位置関係で確認してください。
8. ガイドを抜去します。
9. 気管内チューブを呼吸回路と接続します。気管内チューブが正しい位置にあることを通常の医学的手法によって確認します。

【使用上の注意】

*〈重要な基本的注意〉

- 1) 開封後、直ちに使用すること。使用しなかった場合は、再滅菌せずに廃棄すること。
- 2) 訓練目的での挿管は in vitro でシミュレーションすること。
- 3) 気管内チューブをガイドにかぶせながら気管に挿入する際には必ず喉頭鏡を使用すること。
- 4) 食道挿管になった場合:
 - (a) 気管内チューブを抜管する。
 - (b) 患者が適切に酸素化されていることを確認する。
 - (c) 咽頭部を吸引する。
 - (d) 気管内チューブ又は他の方法で、気管挿管を繰り返し試みる。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

本品を保管するときは、次の事項に注意すること。

- ・ 水濡れ、高温多湿及び直射日光を避けて保存すること。
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。
- ・ 保管時(運搬時も含む)は、過度な振動・衝撃などに注意すること。

〈有効期間〉

本品の包装に記載されている「有効期間」までに使用すること[自己認証(当社データ)による]。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

**〈製造販売業者〉

ICU メディカルジャパン株式会社

〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

**〈製造業者〉

アイシーユー メディカル, Inc.

ICU Medical, Inc.

*〈国名〉

アメリカ合衆国